

私のおすすめ

広島工業大学 保健室 田中浩恵

こんにちは、広島工業大学の田中です。工大の保健室に着任して、3年目に入りました。4月に約4600人を対象とした学生の定期健康診断も無事に終わり、ほっとしているところです。

私のおすすめは、ムーミングッズです。ご存じの方も多いと思いますが、ムーミンは、フィンランドのトーベ・ヤンソンが書いた童話の中の主人公です。去年は、トーベ・ヤンソンの生誕100年で、たくさんのムーミングッズを店頭やネットでみかけます。

私は、意識して収集していたわけではないのですが、いつの間にか身近にムーミン谷の仲間たちを持っていました。自分で購入したものや頂いたもの、商品のおまけについてきたものなどいろいろです。中でも私が好きなのは、ミーとスナフキンのグッズです。



これは、去年の誕生プレゼントに次女が贈ってくれたものです。珍しく笑っているミーがかわいい手提げです（^^） 毎日お弁当を入れて通勤しています。

下にあるのはミムラ姉さんとムーミンのクリップです。

ミーのマスキングテープです。ノート以外にもいろいろ、文房具に貼って使っています。





毎日、仕事に持参しているペンケースです。



スナフキンの食器です。日々愛用しています。



清涼飲料水のおまけについてきたお弁当用のグッズです。非売品です。





昨年、自宅をリフォームしました。新しくした壁紙に貼るために購入したムーミンのウォールシールですが、リフォーム業者の方に「貼ると壁紙が剥がれますよ」と言われ(;_;)勝手口のガラスにはりました。

でも、今では毎日の台所仕事の癒しになっています(^ ^)



トーベ・ヤンソンは、1945年に第一作「小さなトロールと大きな洪水」を出版し、第三作の「たのしいムーミン一家」で評判を得て、その後26年間に九作を書きました。1945年は第二次世界大戦が終わった年です。トーベは、戦時中からムーミンを主人公にした物語を書き始めていました。戦時中の創作活動もままならない時代に、ムーミンの構想を練ったのは暗い現実からの逃避だともいわれています。

ムーミンが日本で初めてアニメーションで放映されたのは、1969年です。私は小学生でした。♪ねえ～ムーミン、こっち向いて、恥ずかしくないで♪の歌詞で始まる主題歌は、今でも歌うことができます。しかし、実は私、ムーミンを「カバ」だと思っていました。妖精だと知ったのは、ずっと後のことです(@_@)。

ムーミンをとおして感じる事ができる幸せを、トーベ・ヤンソンに感謝しつつこれからも、ムーミングッズをひそかに集めていきたいと思えます。